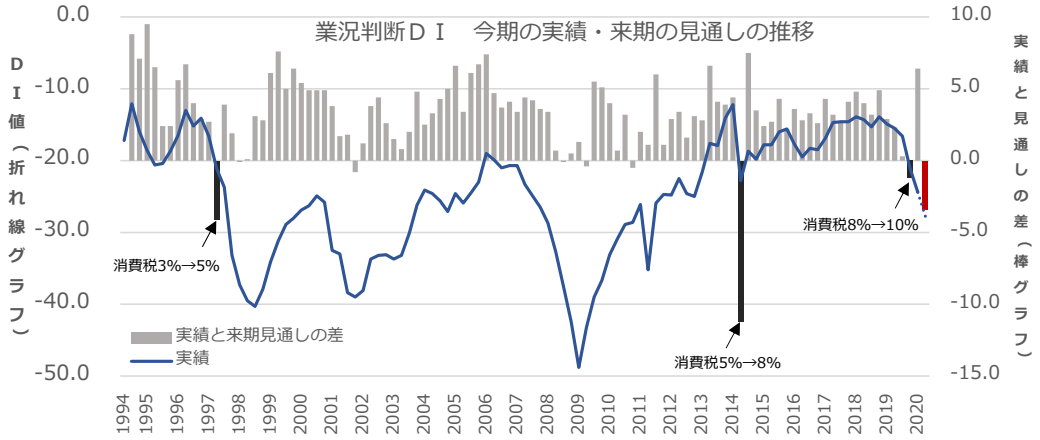
第１５９回中小企業景況調査（２０２０年1-3月期）のポイント

消費税率引上げ期を除き初めて来期見通しが３ポイント以上低下

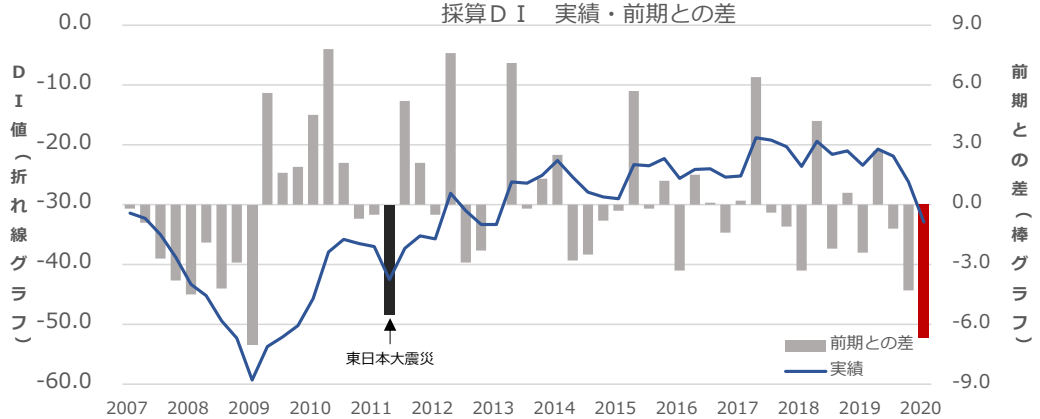


※業況判断ＤＩ：前期（2019年10-12月期）と比べて、【好転】、【不変】、【悪化】の3択で質問し、【好転】割合から【悪化】割合を差し引きし、季節調整を行った値。

今期の中小企業の業況判断ＤＩは、前期より３．３ポイント低下のマイナス２４．４。来期の見通しは、今期より３．４ポイント低下のマイナス２７．８となった。

業況判断DIの来期の見通しは、概ね今期の実績より改善する中、消費税引上げ期以外で3ポイント以上低下するのは今回が初めて。【報告書P.１２　1-（1）全産業より】

採算DIは東日本大震災を超える低下



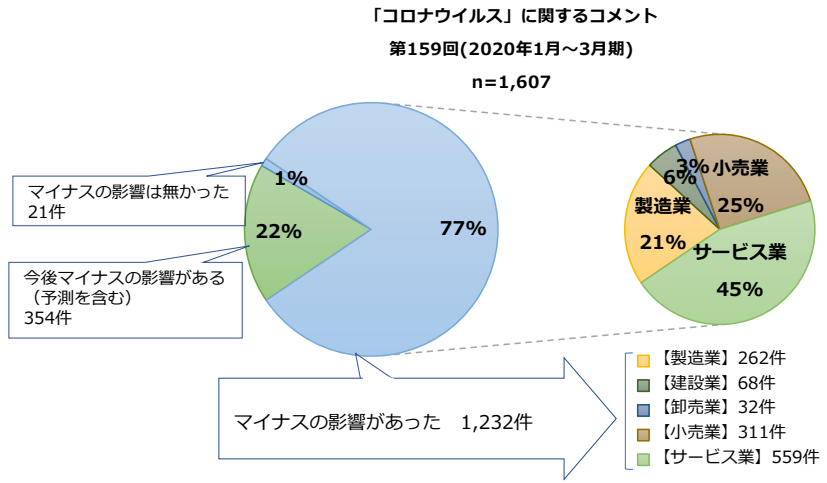
※採算ＤＩ：前年同期（2019年1-3月期）と比べて、【好転】、【不変】、【悪化】の3択で質問し、【好転】割合から【悪化】割合を差し引きした値。

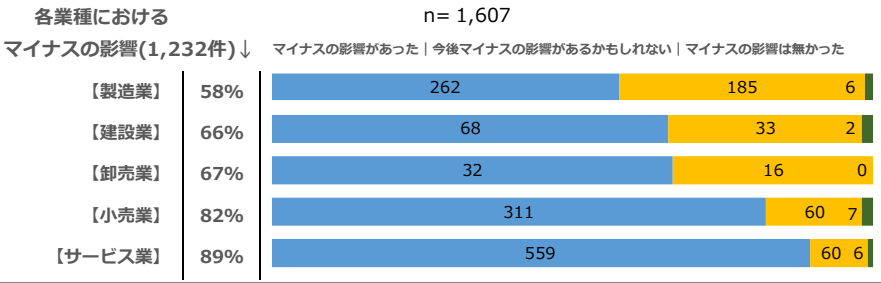
今期の採算DIは、前期より６．７ポイント低下のマイナス３２．９。

リーマンショック後に、７．０ポイント低下した２００９年１－３月期以降、東日本大震災を超える低下となった。【報告書P.１４　５．採算（経常利益DI）より

今後を含めて 99%が コロナウイルスでマイナスの影響あり

「マイナスの影響があった」と回答した1,232件のうち、業種別にみると、サービス業が45%と最も多く、次いで小売業25%、製造業21%となった。





【中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)について】

項目を選択する方式ではなく、業況判断の背景についての感想や意見を自由に記入する方式であることから、回答者自身の言葉には、各企業が抱える課題が表れている。

今期の回答数は、調査が始まって以来、最多の 4,073件となり、景況感に対して強い関心が寄せられている。
中でも４割の1,607件が「コロナウイルス」に関連するコメントとなった。
また、今後を含めて99%がマイナスの影響を感じていることが分かった。

1.調査時期　2020年2月20日～3月5日
2.回答数　4,073件
（参考：2019年 消費税10%引上 直後　回答数　3,743件　うち「消費税」関連　918件
2011年 東日本大震災 直後　回答数　3,856件
2008年 リーマンショック 直後　回答数　2,796件）
3.集計方法
回答があったフリーコメントから、明確にコロナウイルスに関連するワードを含んだコメントを抽出し、影響の有無と不明なものを分類し、時点を分け、更に、プラスの影響、マイナスの影響、その他に分けて集計した。
(1)コロナウイルスに関連するワード
新型ウイルス、新型肺炎、感染症、疫病、自粛、中国からの輸入停止、キャンセル、マスク、消毒液 他
(2) 分類の定義
①マイナスの影響があった
自社への影響を明言又は実感を伴う表現等
②今後マイナスの影響がある（予測を含む）
自社への影響を事前把握、予測、又は、景気を不安視する表現等
③マイナスの影響は無かった
自社への影響が無いことを明言、又は、特需等良い影響があった表現等

お問い合わせ先：中小機構　企画部調査課　　担当　山崎、谷井、大竹　　TEL　03-5470-1521　　URL　https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html